

岩手県職労

月2回刊=1512号
 2018年7月15日 発行
 発行日 毎月15日30日
 発行所
 盛岡市内丸10番1号
 岩手県庁内
 岩手県職員労働組合
 印刷所
 盛岡市上田二丁目17-4
 有限会社 ジロー印刷企画
 一部 40円
 組合員購読料は組合費に含む

人生予報、晴れたり曇ったり

雨の日だってあるのが人生。仲間同士の助け合いで備えましょ。入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障。5大人病入院も手厚くカバー。◆お問い合せ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命共済

全労組 全労組職員共済生活保障組合
自治労共済本部
 全日本自治労共済生活保障連合会

人員確保に向け当局努力を

任期の定めのない選考採用枠拡大要請も実施

7月4日、分会基礎調査結果を踏まえた人員確保統一要求書を佐藤人事課総括課長に提出した。各職場の人員要求に関し、佐藤人事課長は「担当部署を通じてしっかり把握したうえで適切な人員配置となるよう努める」との姿勢を示したことから、改めて実態に即した配置を求めた。任期付職員の任期の定めのない選考採用枠拡大も強く求めた。

特別募集の結果

I種・III種合わせて38人が合格し、知事部局には最終的に35人程度の採用を予定しているとし、各部署の要望や欠員解消の観点も踏まえて配置を検討するとした。

各所属の人員要求への姿勢

担当部署を通じてしっかりと把握したうえで、適切な人員配置に努めるとしたことから、交渉団から各職場における人員・職場課題



▲人員確保等を求めて人事課長交渉に臨む県職労四役



▲要求書を手渡す小野委員長(右)



▲見解を示す佐藤人事課総括課長

2019年度の地方財政強化・拡充を 県議会に請願書提出、5日の本会議で採択



佐々木県議会議長に請願書を手渡す佐藤連合事務局長(右)

6月28日、連合岩手は2019年度の地方財政確立と地方公務員総体の確保、2020年4月施行の会計年度任用職員制度(臨時・非常勤職員の処遇改善)に向けた財政措置の拡充を求め、採択を要請した。

7月3日時点での分会基礎調査の結果(集約率約66%)は表のとおり。来年度を踏まえた要求交渉を本格化するなか、各支部・分会の組合員の一層の取り組みへの結果をお願いする。

【人員要求数】(全体回答率:66%)

	県庁	盛岡	県南	沿岸	県北	合計
事務企画	12		4	2	3	21
事務用地	1		5	2	1	9
事務税務		2	6	3		11
事務その他	14	9	22	9	6	60
専門土木	11	4	15	20	7	57
専門保福		8	6	4	2	20
専門普及		1	6	2	6	15
専門企画	1		5		0	6
研究員		5	2	7	1	15
現業			1		1	2
専門他	16	4	4	5		29
合計	55	33	76	54	27	245

【欠員数】

①部局別	
総務・秘書他	7
政策地域	8
環境生活	5
保健福祉	13
商工労働	2
農林水産	24
県土整備	18
出納局ほか	3
合計	80

②広域局別	
県庁	7
盛岡	5
県南	30
沿岸	26
県北	12
合計	80

今後の対応

また、事務職員の確保は、現在、採用数も増やしている中において、必要部署に配置するとしていた。交渉団からは、専門職種は処遇面の改善と併せての対策が急務とし、処遇改善の側面での対応を強く求めた。

育休代替職員の配置

正規職員の配置がベストであるとしつつ、欠員解消をはかりながら対応しているとし、臨時職員で対応せざるを得ない職場もあることと理解いただいたとの姿勢にとどまった。交渉団からは、専門職種での育休代替職員では欠員と変わらず

人員配置上の諸課題

専門職種の確保に関し、獣医師の確保のため通年募集や職務経験者を対象とした任期付職員の選考採用の実施、総合土木職確保のための民間経験者の採用枠の設定など様々な視点から取り組みを進めているとした。

花巻市議会議員選挙/7月22日告示・29日投開票

地方から社会を変えるために
若柳さんを議会に送り出そう!

知人・友人などへの声かけで若柳さんの勝利を確実なものにし、政治や社会を地方から変えていきましょう。
 組合員の皆さんの御協力をお願いします。



若柳よしあきさん
 (社民現・69歳)

プロフィール

- ・1948年12月2日 花巻市大迫町生まれ(69歳)
- ・1967年 県立大迫高等学校卒業
- ・同年 大迫町役場入職
- ・2000年 町教育委員会社会教育課長
- ・2001年 町教育委員会学校教育課長
- ・2005年 大迫役場退職
- ・2006年 花巻市議会議員当選(現在3期目)

第五世代

サッカーワールドカップが開催され、世界中のサッカーファンがサッカー選手の手プレーに一喜一憂した。日本代表は、グループでFIFAランク上位国に勝ち、決勝トーナメントに進出し、ベルギー戦では勝利まであと一歩に迫るなど日本代表のフェアプレーに国民は多くの声援を送った。帰国時には空港に800人以上のファンが選手を出迎えるほど、日本中が盛り上がりつつある。日本中の生活のストレス発散になった人も多く、一方で渋谷など大都市では大騒ぎをし、機動隊が出動するような無法状態になることには不安を覚える▼ストレスと言えば、労働者は長時間労働は正が大きな関心事だ。国会では「働き方改革関連法案」が成立し、今後は法律を踏まえた働き方が労働者へ求められる。制度や仕組みが変わっても、それが実際に職場でどう運用されているかが問題であり、運用改善に向け職場から声を上げていくことが大事である▼国民は、安倍政権の相次ぐ問題・不祥事・疑惑によって政治や行政に対する不信・怒りは頂点に達している。政府は、日本代表のフェアプレー精神に学び、理論整然と誠意ある対応を取るべきだ。

自衛隊を戦場に送ってはならない

「7.1いわて市民アクション」で菱山南帆子さんが訴える

7月1日、9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会主催の「7・1いわて市民アクション」自衛隊を戦場に送らない!大集会が盛岡城址公園で約7500人が参加し開催された。冒頭、安倍改憲NO!全国署名の取組みは県内で15万6千筆を超える集約となつていて、目標の半数を超えたところ。引き続き全力を挙げて取り組んでほしいとする主催者挨拶があった。



▲「自衛隊員を戦場に送らない」「憲法を守ろう」「安倍政権退陣」などを訴えたプレート

集会に出席した木戸口英司参議院議員は、「権威主義と縁故主義」の政策を推し進める今の安倍政権では必ず民主主義が破壊される。こうした情勢を変えていくためにも今後の運動をさらに強化してほしいと訴えた。

過労死した家族と共に反対

その後のメインスピーチでは市民運動家の菱山南帆子さんが、南北会談や米朝会談など少しずつではあるが平和への流れが作られてある。こうした流れを止めてはいけないし、市民外交で平和を切りひらいていかなければならないと強調。働き方改革法案についても触れ、国会前で過労死した家族と共に夜遅くまで、反対を訴えたが、安倍首相は耳を傾けることもしなかった。一部大企業のためなら労働者が犠牲になつてもいい、そうした今の自公政権の体質が明らかになった



▲民主主義の危機を訴える木戸口参議院議員(左)と「平和憲法」をまもることがなによりも大事だと訴える菱山さん(右)

佐藤ケイ子

県議会報告

6月29日、県議会6月定例会において、自治労組織内・佐藤ケイ子県議が一般質問に登壇し、職員体制、2020年4月施行の会計年度任用職員課題を取り上げた。質疑応答は次のとおり。

〔人員確保〕

(佐藤県議) 欠員解消の対応は。新年度の採用方針は。(総務部長) 4月1日時点



佐藤ケイ子県議

で一般行政62人、総合土木15人等が欠員。特別募集での採用のほか、来年度は新規採用数を170人程度と見込んでいる。あらゆる手段を講じて人員確保を進める。

〔佐藤県議〕

専門職種の人材確保・処遇改善策は。(総務部長) 獣医師の確保は修学資金の貸付、初任給

専門性を継承する職員体制を

の引き上げ、手当の増額等を実施してきたところ。今後も専門職種確保のための取り組みを進める。

〔佐藤県議〕

栄養士などは定年退職も控え専門性の確保が課題。職員の専門性をどう継承する考えか。

〔総務部長〕

年齢バランスに配慮した計画的な採用を行うなど、職員の専門性の継承に向け必要な職員体制

〔会計年度任用職員制度〕

制度導入の取り組み姿勢は。

〔総務部長〕

4月時点で臨時職員553人、非常勤職員1,573人(約6人に1人が臨時非常勤職員)。適正な制度設計

〔総務部長〕

となるよう具体的な検討をし、職員団体に対しては必要な協議を進める。

「釜石支部・胆江支部」定期大会を開催

独自要求に向け運動参加を

6月26日、釜石支部定期大会が開催された。小野寺支部長から、昨年度も釜石支部として庁舎管理等の独自要求書を提出し、改善を促してきた。年度末であったこともあり未



▲支部独自要求の取組み等活動方針を決めた釜石支部定期大会



▲身近な支部活動実現等について方針を決めた胆江支部定期大会

組合員に身近な支部活動を

胆江支部

6月27日、奥州地区合同庁舎会議室において胆江支部定期大会が開催された。長沼支部長のあいさつに

だ回答はないが、引き続き独自課題の改善に向けて結集していこうとあいさつ。その後、分会活動の活性化、青年婦人部活動の推進、支部独自要求の実現などを柱とする運動方針が提起され、討論を経て確立された。最後に、小野寺支部

伊藤支部長、柳谷書記長を選出

花巻支部が体制を確立

花巻支部は6月18日、2018年度の支部体制を確立、伊藤支部長、柳谷書記長を選出。新体制は7月1日からスタートした。役職と氏名は次の通り。(敬称略)

- 書記長 柳谷 浩子 (花巻農林振興センター)
- 書記次長 宮澤真由美 (総務・審査指導)
- 執行委員 今野 善文 (徳福園センター)
- 及川 政伸 (保福社センター)
- 島山 任 (花巻農林振興センター)
- 齋藤 浩美 (県税センター)
- 佐藤 哲也 (空港事務所)
- 昆 悦郎 (遠野農林振興センター)
- 山崎 善栄 (遠野土木センター)
- 会計監事 西山 由紀 (総務・審査指導)
- 伊藤 優子 (県税センター)



伊藤雅敏 (花巻支部長)

書記の人事異動

県職労は7月1日付で書記の人事異動発令を行った。現在、盛岡支部の中軽米

の職種の声も吸い上げ、しっかりと評価・改善していく職場づくりが必要だ」との声があがった。

悦美書記を県庁支部へ。釜石支部の太田かおり書記が盛岡支部に。釜石支部には臨時書記として藤井美由紀書記を配置した。組合員の皆さんのご協力をお願いします。



中軽米悦美書記 (県庁支部)



太田かおり書記 (盛岡支部)



藤井美由紀書記 (釜石支部)

「女性の生活・労働環境」切実な声

女性議員と語る会で意見交換

6月23日(土)、平和環境岩手県センター女性協議会学習会(第5回女性議員と語る会)が教育会館で開催され、60人を超える参加者があり、県職労から栄養士の岩山啓子さん(釜石支部)が参加した。

4人の女性議員による政治活動報告後、グループで



▲小グループによる意見交換の様子